

平成 17 年度 収 支 予 算 (案)

(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

収支予算(案)の編成に当たって

収支予算書(案)

総	括	表
一	般	会
特	別	会
		計
		計

社団法人 全国大学体育連合

平成 17 年 3 月 28 日

収 支 予 算 (案) の 編 成 に 当 た っ て

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで

当期収支の均衡を原則とするが、経常的な事業以外の時限的な事業については、前期からの繰越金で対応することとした。総括表（一般会計と特別会計の総括）収支をもとにした、前期との変更点等の要点は以下の通りである。

．収入について

1．入会金収入

前期実績も踏まえ、個人 5 を見積もり、50,000 円を計上した。

2．年度会費収入

前期清算時点での納入状況と、前期における退会の届け出並びに入会見込みとの関係から、前期に比して 760,000 円減の 22,750,000 円を見積もった。

3．賛助会費収入

前期会員増強事業の一環として賛助会員の入会事業を促進し、賛助会員 5 を見積もり 250,000 円を計上した。

4．事業収入

前期清算時点の実績も踏まえ、135,500 円を見積もった。

5．預金利息収入

前期清算時点の実績も踏まえ、6,900 円を見積もった。

6．広告収入

機関誌等に広告収入事業を行い、広告収入 50,000 円を計上した。

7．繰越金収入

一般会計から特別会計に繰り入れた（特別会計の収入）もので、収益事業に係わる必要な経費 858,544 円を計上した。

8．当期収入合計

以上の結果、当期収入合計は 24,100,944 円となり、前期に比して 35,717 円の増となっている。

9．前期繰越金収支差額

前期清算時点の見込み額である 12,900,000 円を計上した。

．支出について

1. 運営費

1) 運営費・一般運営費

「総会・理事会費」を除き、前期清算時点での実績を踏まえて、各小勘定科目に予算額を計上した。

「顧問報酬費」は平成 17 年度の登録申請業務がないため、司法書士報酬料 80,000 円を減額し、630,000 円を計上した。

「会議費」は総務の事務所での打合せ等が増え、前期清算時点での実績も踏まえて、増額して計上した。

「旅費交通費」は支部長会への事務職員の出席、総務の事務所での打合せ等が増え、前期清算時点での実績も踏まえて、増額して計上した。

「賃貸費」は事務所更新手数料が平成 17 年度に平成 15 年度に続き発生するために 110,000 円を増額し、1,550,000 円を計上した。

「備品費」は前期清算時点での実績を踏まえて、倍額の 40,000 円を計上した。

「総会・理事会費」は、前々期の実績をもとに、840,000 円を計上した。この小勘定科目には、総会・理事会に係わる会議費、印刷製本費、旅費交通費、講師謝礼、懇談会費等が含まれる。

2. 事業費

1) 事業費・一般運営費

機関誌「大学体育」の発行費は、当期より「大学体育」が年 2 回の発行となるため前期より 630,000 円減額し、1,880,000 円を計上した。

『論文誌「大学体育学」発行費』として前期予算と同額の 552,000 円を計上することとした。

「会員増強費」は平成 16 年度において新規会員加入促進の観点から常務理事会で承認した事業に係わる科目で、当期は 360,000 円を計上した。この科目にはポスター印刷費、郵送費等が含まれる。

「FD 評価関係費」は前期の実績を踏まえ、支部委員の交通費 90,000 円をプラスして計上し、当期は 527,100 円を計上した。

「体育指導教材作成費」には新規事業の準備費として 650,000 円を計上した。この科目には新規事業に係わる会議費、旅費交通費、消耗品費、取材のための交通費、謝金等が含まれる。

「旅費交通費」は精算時点の実績を踏まえて、740,400 円に増額して計上した。

「事業運営関係雑給費」は事業運営にかかわるアルバイト代で、720,000 円に増額して計上した。

「図書費」は教材推薦図書事業に係わる経費であり、当期に新たに 54,000 円を計上した。

「図書刊行費」、「シンポジウム開催費」、「表彰関係費」、「ホームページ作成費」、「通信運搬費」は前期の実績を踏まえて、前期と同額を計上した。

「会議費」234,000 円、「印刷製本費」74,400 円、「消耗品費」20,700 円、「雑費」14,400 円は前期の実績を踏まえて減額して計上した。

2) 事業費・研修事業費

「研修会補助金支出」は当期から中央研修会の開催が年 1 回となるため、1,350,000 円に減額して計上した。

「研修会調査準備費」は中央研修会主管支部にその調査準備に補助するものである（前年度 80,000 円、当該年度 150,000 円）。当期から中央研修会は年 1 回の開催となり、当期は 230,000 円を計上した。

「印刷製本費」は中央研修会に係わるポスターや資料の印刷関係費であるが、これも中央研修会が年 1 回開催になることから、200,000 円に減額して計上した。

「研修会企画調整費」は当期から中央研修会の開催が年 1 回となるため、472,000 円に減額して計上した。

「支援補助金支出」は中央研修会を年 1 回の開催にしたことから、研修会に支援を実施するため、3 件の研修会支援補助を計上した。ICHPER・SD の補助支援金は前期の日本開催に伴う時限的事業であったため当期は計上しない。その結果当期は 500,000 円に増額し計上した。

3) 事業費・研究調査費

「研究助成費」、「図書費」は前期と同額を計上した。

「検討会議費」、「旅費交通費」、「印刷製本費」、「通信運搬費」、「研究調査雑給費」は前期に比して増額して計上した。

「消耗品費」は前期に比して減額して計上した。

4) 事業費・国際交流費

「国際交流費」は前期と同額を計上した。

「海外研修費」は前期、前々期の ICHPER・SD アジア開催に派遣を行った。当期もアジア開催であるため派遣を見送ることとした。

3. 予備費

当期は 12,296,000 円を計上した。前期に比して 713,650 円の増となっている。

4. 繰越金支出

一般会計から特別会計に繰り入れた（一般会計の支出）もので、収益事業に係わる必要な経費 858,544 円を計上した。

5. 当期支出合計

以上の結果、当期の支出合計は 37,000,944 円となり、前期に比して 535,717 円の増となっている。

なお、予備費を除く当期支出合計は 24,704,944 円であり、前期の予備費を除く支出合計の 24,882,877 円に比して 177,933 円の減となっている。

・ 当期の収支

1) 運営費と事業費の比率

予備費並びに繰入金支出を除いた当期支出合計の 23,846,400 円に対して、運営費の 8,273,900 円は 34.7%、事業費の 15,572,500 円は 65.3%となっている。この比率は前期の比率とほぼ同率となっている。

2) 当期収支の差

当期の収入合計は 24,100,944 円、予備費を除く当期支出合計は 24,704,944 円であり、差引 604,000 円の支出超となった。

支出超となっている主な原因は、運営費の事務所更新手数料、事業費の会員増強費並びに時限的な事業に係わる経費等の支出で、この内容は次のものとなっている。

運営費・一般運営費

「一般運営費・賃貸費」	事務所更新手数料	101,875 円
-------------	----------	-----------

事業費・一般運営費

「一般運営費・会議費」	特別委員会	75,000 円
-------------	-------	----------

「一般運営費・旅費交通費」	特別委員会	140,000 円
---------------	-------	-----------

「一般運営費・印刷製本費」	特別委員会	4,000 円
---------------	-------	---------

「一般運営費・通信運搬費」	特別委員会	5,000 円
---------------	-------	---------

「一般運営費・消耗品費」	特別委員会	1,800 円
--------------	-------	---------

「一般運営費・雑費」	特別委員会	1,800 円
------------	-------	---------

「一般運営費・会員増強費」	総務	360,000 円
---------------	----	-----------

計 689,475 円

本連合の安定運営のためには、年度会費の納入時期と第 1 四半期の事業遂行との関係から、約 7,000,000 円の繰越額が確保される必要がある。

以 上